Aziun RemoteCommand Service Ver1.0 導入マニュアル

Soft \cdot And \cdot Soul

目次

1.	機能概要	2
<u>2</u> .	<u>動作環境</u>	2
<u>3</u> .	<u>インストール手順</u>	3
4.	サービスの設定	5
5.	 サービスの追加	6
6.	 サービスの削除	6
7.		6
8.	 イベントログ	6
9.	 クライアントアプリケーション	11
	<u>· · · · · · · · · · · · · · · · · · · </u>	

機能概要

A ziunR em oteC om m andService はクライアントアプリケーション (A ZRCM D EXE)で 指定されたサーバアプリケーションを起動し、終了ステータス等をクライアント アプリケーションへ通知します。



動作環境

サーバアプリケーション

OSW indowsNTServerVer3.51以降

TCP/IP 接続されているサーバ

クライアントアプリケーション

OSW indow sNTW orkStation Ver3 51 以降、W indow s95/98

TCP/IP 接続されているクライアント

インストール手順

まず、インストーラーが入っている FDD もしくは CD ROM をセットし、Setup exe を 起動してください。

以下の画面が表示されますので、次へボタンを押してください。



次の画面でアプリケーションをインストールする先を選択してください。 既定値では、Program Filesが指定されているので、それ以外の場所にインストールする 場合は変更してください。



次へボタンが選択されると次の画面が表示されます。

この画面では、そのまま何も変更せずに次へボタンを押してください。



これでインストールは完了です。

この後、サービスの設定を行ってください。

サービスの設定

本アプリケーションをインストールしただけでは、サービスは起動できません。 サービスを起動する場合は、インストールしたフォルダー内の、installbatファイルを 実行して行います。

なお、実行する前に、Windowsシステムフォルダー内の azrcm diniファイルの設定を 行ってください。

設定はメモ帳などで開いて行います。

🖺 azromd	.ini - 奼帳				_ 🗆 ×
771N(E)	編集(E)	検索(<u>S</u>)	^/μフ°(<u>H</u>)		
E SOCKET	[]				A
PORT=15	570 <u>0</u>				
[[EVENTL	_OG]				
LEVEL=0)				
	S] 11 – 1				
	<u>1 - I</u>				
					-
4					▶ //

下線部のみを変更します。

PORT=XXXXX

TCP/IP のポート を設定します。

空いているポート を確認するには、Windowsフォルダー内の

¥system 32¥drivers¥etc¥Services ファイルで確認してください。

LEVEL=X (01を設定)

イベントログでのメッセージ内容について設定。

0の場合は、処理終了、エラーメッセージを表示

1の場合は、エラーメッセージのみ表示。通常はこちらを設定してください。

TERM INAL=X (01を設定)

サービス終了時に起動したアプリケーションの処置方法を設定

0の場合は、起動したアプリケーションはそのまま放置する。

1の場合は、起動したアプリケーションも強制終了する。通常はこちらを設定してください。

サービスの追加

サービスを追加する場合は、本アプリケーションをインストールしたフォルダー内の installbatを実行してください。

実行後、サービスが追加され実行されます。

コントロールパネルのサービスにて確認してください。

<u>サ-ビス♡</u>	状態		閉じる
3Com dRMON SmartAgent PC Software	開始	自動 🔼	
Alerter		手動	開始(<u>S</u>)
Aziun Remote Command Service	開始	自動	 停止(T)
ClipBook Server		手動	
COM+ Event System		手動	
Computer Browser	開始	自動	続行(C)
DHCP Client	開始	自動	
Directory Replicator		手動 👤	スタートアッフ ^{°(<u>R</u>)}
			ለ− ト ჼウェア プロファイル(₩)
スタートアッフ [®] パラメータ(<u>A</u>):			

サービスの削除

サービスを削除する場合は、本アプリケーションをインストールしたフォルダー内の delete.bat を実行してください。

実行すると、上記のコントロールパネルのサービスから削除されます。

サービスの停止、開始

サービスの開始は何も設定しなければ、自動的に開始されます。

サーバを起動した際に自動的に開始されるようになります。

サービスの停止、開始はコントロールパネルのサービスを使って操作してください。

イベントログ

本アプリケーションでは、異常時、サーバアプリケーション起動時には、イベントログに

ログを記述するようになっております。 (環境設定の設定に従います) 以下の図は、環境ファイルの定義がLEVEL=0の時を示します。 なお、イベントログはアプリケーションログとして記述されます。

201	ብላ ^ነ ንት ይነኳ - ፓ	" - ፖንሣታ-ション	በታ ^ኑ (¥¥DAIOW	S 上) (フィルタ)		
<u></u>	r(L) 表示(Ø オフ°ション@	∿μフ°(<u>H</u>)			
Β	付	時刻	Y-Z	分類	1ላ"ንトューザ"-	コンピュータ
0	99/09/10	午後 1:57:16	AzRomdSv	なし	1055 N/A	DAIOWS
0	99/09/10	午後 1:57:16	AzRomdSv	なし	1054 N/A	DAIOWS
	99/09/10	午後 1:57:15	AzRomdSv	なし	1053 N/A	DAIOWS

まず、クライアントから接続要求があった場合には以下のようなログが表示されます。 接続されたクライアントの № アドレスを表示します。

イベントの詳細					×
日付: 時刻: ユーザー(<u>U</u>): コンビュータ(<u>M</u>): 説明(<u>D</u>):	99/09/10 午後 1:57:15 N/A DAIOWS		イベント ID: ソース: 種類: 分類:	1053 AzRomdSv 情報 なし	
210.226.158.	246との接続を	確立しました。			<u>~</u>
$\overline{\tau}^* - \overline{\mu}(\underline{A})$:	⑥ 八州(里)	O 7-№)			
	೮ನಿ	前のイベント(Ⴒ)	次の1	(ላንኑ <u>₪</u>	► ▼ ^µ7°(<u>H</u>)

接続後、指定されたアプリケーションを起動し、次のようなログが表示されます。

どこのフォルダーのどのアプリケーションが起動されたかを表示します。

イベントの詳細					x
日付: 時刻: ユーザー(U): コンビュータ(<u>M</u>): 説明(D):	99/09/10 午後 1:57:16 N/A DAIOWS		イヘシト ID: ソース: 種類: 分類:	1054 AzRomdSv 情報 なし	
C:¥Program	Files¥test¥run	aze.exe 100 300()	パロセスID=2	71)を起動しました	•
	a	A A 12010			~
デ ^ー デ(<u>合</u>):	© /*1*\B/	O 7-1-19			
					<u> </u>
					<u> </u>
					Þ
閉	じる 🔤	前のイベント(<u>P</u>))次の1	(ベント(N)	^⊮フ°(<u>H</u>)

起動したアプリケーションが終了した場合は、以下のようなログが表示されます。 この終了ステータスはクライアントへ通知されます。

イベントの詳細					×
日付: 時刻: ユーザー(U): コンピュータ(<u>M</u>):	99/09/10 午後 1:57:16 N/A DAIOWS		イベシト ID: ソース: 種類: 分類:	1055 AzRomdSv 情報 なし	
説明(<u>D</u>):					
C:¥Program ました。	Files¥test¥rur	naze.exe 100 300(;	パロセスID=2	71.終了ステー	タス=300)が終了し 🛌
$\overline{\tau}^* - \dot{\mu}(\underline{A})$:	◎ が作(型)	O 7-№(<u>w</u>)			
न					×
閉	じる	前のイベント(Ⴒ))次の1	「^ツト(<u>N</u>)	^/レフ ^{°(<u>H</u>)}

エラーが発生した場合には、以下のようなログが表示されます。

23	ſ^ѷ <u>┣</u> Ľューア	- ፖንሣታ-ション በ	」か(¥¥DAIOWS _	E)			_ 🗆 ×
ログ	(1) 表示()	<u>()</u> オフ°ション(<u>O</u>)	∧ルフ°(<u>H</u>)				
日1	付	時刻	Y-Z	分類	14"ント	ユ-ザ`-	コンピュータ
5100	99/09/10	午後 2:09:49	AzRomdSv	なし	1058	N/A	DAIOWS
0	99/09/10	午後 2:09:49	AzRomdSv	なし	1055	N/A	DAIOWS
0	99/09/10	午後 2:09:49	AzRomdSv	なし	1054	N/A	DAIOWS
0	99/09/10	午後 2:09:48	AzRomdSv	なし	1053	N/A	DAIOWS

クライアントのアプリケーションが通知を受け取る前に、終了した場合に 以下のようなエラーが発生します。

イベントの詳細					×
日付: 時刻: ユーザ [、] ー(<u>U</u>): コンビ [®] ユータ(<u>M</u>):	99/09/10 午後 2:09:49 N/A DAIOWS		イヘント ID: ソース: 種類: 分類:	1058 AzRomdSv エラー なし	
記明(<u>U</u>):	Mahar" h				
210.226.158.2	246とのナータ)	き言に失敗しました	20		<u> </u>
					~
$\overline{\tau}^* - h(\underline{A})$:	$\textcircled{O} \mathcal{N}(\mathbb{B})$	○ 7-ド\)			
					<u> </u>
閉	්රි	前のイベント(Ⴒ)	次の1	(^ジト(<u>N</u>)	<u>^ルフ°(H</u>)

なお、イベントログの設定は、できるだけエラーのみ表示するように、環境ファイルの LEVEL=1を指定してください。 なお、イベントログを以下のように設定してください。

まず、管理ツールからイベントビューワーを選択し、アプリケーションログを選択します。「

ነ።፤	SAS-NT _	E)			
<u>□り℃</u> 表示♡ オプション② ヘルプ	(H)				
9274(Y)		分類	14"가	ユ-ザ`-	コンピュータ
セキュリティ(C)		CI Service	4137	N/A	SAS-NT
✓ パブリケーション(<u>A</u>)	βrv	(185)	1002	N/A	SAS-NT 💻
開<()	βrv	(185)	1024	N/A	SAS-NT
名前を付けて保存(V)	βrv	(176)	1002	N/A	SAS-NT
ーー・ペーク へい いっし オンピーナ ハン	βrv	(176)	1024	N/A	SAS-NT
9 へ (0)11/2)11(1)	<u> </u> irv	なし	1023	N/A	SAS-NT
山2702設定(1)	βrv	(168)	1002	N/A	SAS-NT
コンビュータの選択(S)	βrv	(168)	1024	N/A	SAS-NT
	- jirv	なし	1023	N/A	SAS-NT
イベント ビューアの終了 (⊻) Alt+F4	βrv	(133)	1002	N/A	SAS-NT
🚯 99/09/11 午後 7:25:54 AzRur	Srv	(133)	1024	N/A	SAS-NT
🔍 99/09/11 午後 7:25:50 Ci		CI Service	4097	N/A	SAS-NT
	<u> </u>	+	1000	MI / A	CAC NT -

ログの設定を選択し、以下の画面を表示させます。

ፈላንጋ	ログの設定	×
設定	の変更(C) デラジケーション ロゲ	OK
		キャンセル
最大	コケ サイス (M): [512 📑 KB (64K 単位)	既定値(E)
-11	シトロケの処理	
() 必要に応じてイベントを上書きする(<u>N</u>)	
7	→ (^>+を上書きする(0) 📃 🖿 日経過後	
() イベントを上書きしない (手動でログを消去)(D)	

イベントログ処理を上図のように、必要に応じてイベントを上書きするを選択します。 こうすることにより、ログが最大サイズになっても警告メッセージを表示しません。

クライアントアプリケーション

本アプリケーションをインストールしたフォルダー内に、クライアントアプリケーションも インストールされます。

AzRandExe

このファイルは、Aziun RemoteComm and Service に対して起動するアプリケーションを

設定し、終了ステータスを受け取るアプリケーションです。

使用する際はクライアント環境へコピーして利用ください。

動作環境は、Window sNT Server Ver3.51.4.0

W indow sNTW orkstation Ver3.51,4.0

W indow s95/98

実行する場合は、以下の引数を指定してください。

AzRandExeIP= PORT= APP=' 'COM=' 'TIMER= LOOP=

₽=₽ アドレスの指定

A ziun R em oteComm and Service が起動しているサーバの ₽ アドレスを指定します。

xxx xxx xxx xxx 形式で ℙアドレスを設定します。

PORT=ポート

ポート を指定します。 A ziun R em oteC om m and Service のポート と同じにします。 APP= *'*起動するアプリケーションの指定 [']

サーバ上にあるアプリケーションのパスを指定します。

サーバから見た場合のパス名を指定してください。

必ずシングルコーテーションで囲ってください。

COM = '起動するアプリケーションの引数'

何も引数が存在しない場合は、この定義を省略してください。

指定する場合は、必ずシングルコーテーションで囲ってください。

TM ER=接続できない場合の再接続までの時間指定

サーバへの接続ができない場合の再接続までの時間を指定します。

省略することも可能です。

LOOP=接続できない場合の再接続回数の指定

サーバへの接続ができない場合の再接続する回数を指定します。

省略することも可能です。